

## 優秀賞

一般建築物の部

100年単位で使用されていく祈りの場所

# 梅郷礼拝堂

建築主：宗教法人 大師山 報恩寺  
株式会社 笹川

設計：株式会社 加藤建築設計事務所

施工：株式会社 渡辺富工務店

所在地：野田市大殿井220-1



南西上空からの俯瞰

(撮影/ 畑拓)

応永2年(1395年)野田市内に創建された歴史ある寺院の別院で、廃寺となった寺院の再興計画、地域からの要望、来訪者の増加、檀家の希望などから、古い霊園を整備するとともに、新たに計画された礼拝堂である。100年単位で使用されていく祈りの場所にとって、建物の永続性が重要である。

デザインコンセプトは、歴史と環境に応答し場所の力を活かし高めるデザインで、長く大切にされる建物。新しい考え方を、三角形の流動的な平面で実現、使い方のバリアフリー。経年変化と耐久性に配慮した仕組みによって、長持ちする構造である。

新しい考え方を活かすため、組柱が相持ちで支え合った「木の空間」を構想、住宅で使う材を重ね合わせた玉簾状の柱によって組まれた空間は、



西側から礼拝堂と霊園全体を見る

身近な材の集積が特徴で、小さな材が助け合いながら1枚の大屋根を支えている姿は「梅郷礼拝堂」の思想に相応しい。

100年単位の永続性を支えるための接合方法は、金物などを使用しない木と木を切削し組み合わせ、力をダイレクトに伝達する方式、木材の繊維方向に支圧力を伝え、経年変化によるガタも生じにくく、荷重に対しても変形しにくい接合である。

一般に建物中央に軸が通る宗教的な空間に対して、場所、環境の要素を加えた柔らかな軸をつくり、多様な活動を誘発する計画である。

(圓崎 直之)



南方向池側、天井に池に反射した太陽光が映る